

海を越えてきた  
みほとけたち

大陸渡来の仏教美術

開館時間／9時～17時（入館は閉館30分前まで）

休館日／3月10日（月）・17日（月）

観覧料／一般800円・大高生500円・中小生300円（30名以上の団体は2割引）

主催・会場／福井県立美術館

共催／福井新聞社

福井県立美術館

◆ 平成20年2月29日（金）～3月23日（日）

# 海を越えてきた みほとけたち

## 大陸渡来の仏教美術



県文「紺紙銀字妙法蓮華経」  
朝鮮・高麗時代(14世紀) 小浜市・羽賀寺蔵



「迦樓羅王立像」 中国・南宋時代(13世紀)  
県立若狭歴史民俗資料館保管



重文「孔雀鎗金経箱」  
中国・元時代(14世紀) 敦賀市・西福寺蔵



県文「如来三尊像」  
朝鮮・高麗時代(14世紀) 大野市・寛慶寺蔵

日本海を挟み、大陸の対岸に位置してきた福井。古くより大陸との交流が盛んに行われてきました。敦賀や小浜、三国の港には異国からの船が来航し、数多くの文物がこの地へもたらされました。県内には往時の交流を物語る品々が今も残され、福井の歴史と文化に彩を添えています。

本展は、これら海を越えて運ばれてきた文化財の中から、中国や朝鮮の仏教美術に焦点をあてて開催される県内初の展覧会です。県内所蔵、そしてゆかりの仏画・経典・工芸などを一堂に展示し、仏の美と文化交流の一端を紹介します。

### 関連企画

■記念講演会(於当館講堂、聴講無料)

●3月9日(日) 14:00~15:30  
講師 赤尾 栄慶氏(京都国立博物館学芸課企画室長)  
演題 「中・韓・日に見る 古写経の変遷」

●3月16日(日) 14:00~15:30  
講師 井手誠之輔氏(九州大学大学院人文科学研究院教授)  
演題 「宋元と高麗の仏画世界—日本の中の東アジア—」

■学芸員による解説会

(於展示室、要チケット)  
一般対象  
●3月2日(日) 14:00~15:30  
子供対象  
●3月23日(日) 14:00~15:30

### 同時開催

所蔵品によるテーマ展「横山操とその仲間たち」(本展チケットでご覧いただけます)

次回展覧会  
5月2日(金)~25日(日)  
「土田ヒロミのニッポン」(仮称)

福井県出身の写真家・土田ヒロミは、1960年代末から、日本の土俗的な文化、ヒロシマ、高度経済成長、バブル経済などのテーマを通して、変貌する日本の姿を撮り続けています。本展では氏の作家活動の軌跡をととして、あらためて日本の現代史をみつめ、日本人を考えます。



### 交通のご案内

- コミュニティバスすまいる/JR福井駅前(西口)のりばより、田原・文京方面線約10分「県立美術館」下車。
  - 京福バス/JR福井駅前(西口)10番のりばより、福井病院・藤島線(26系統)約10分「藤島高校前」下車(※ただし土日祝は運休)。
  - 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」下車徒歩約8分。
  - 車/JR福井駅前より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分。
- ※ご来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

### 福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL 0776-25-0452 FAX 0776-25-0459  
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>